

新型コロナウイルス対策に

消毒液と不織布マスク寄贈

4月22日(木)に第一生命保険株式会社青森支社五所川原営業オフィスからオフィス長を含めた4人が訪れ、1リットル入り消毒液24本と不織布マスク300枚を町に寄贈しました。

オフィス長の廣田宗亮さんは「地域貢献の一環として取り組んでいた。感染症対策に役立ててほしい」と話しました。

町長は、「消毒液とマスクの寄贈、感謝します。さまざまな場面に使わせていただきます」とこやかに感謝していました。



創立50周年を記念して

町に掛け時計寄贈

4月27日(火)に県自動車整備北五協議会の磯辺勇司会長、長内良道さん、新岡新也さんの3人が創立50周年記念事業の一環で町に掛け時計2台を寄贈しました。

磯辺会長は「日頃からお世話になっているので、この節目に少しでも恩返しをしたいと思い、寄贈をした」と話していました。

町長は「ありがとうございます。大切に使用させていただきます」と感謝の言葉を述べていました。



立志挑戦塾修了の報告

高橋佳太郎さんが報告に訪れる

4月28日(水)に高橋佳太郎さんが、町長に立志挑戦塾修了の報告をしました。

高橋さんは「自身と周囲とで向上心に差があり、刺激を受けた。この経験を生かして、何らかの形でこの町に魅力を持ってもらう活動をしていきたい」と今後の抱負を語っていました。



地域のよき相談相手として

民生児童委員協議会総会が開催

4月30日(金)に総合文化センター「パルナス」で町民生児童委員協議会総会が行われました。

川島久幸会長は「相談役として、個々の経験をいかし、町民の役に立ちたい」と意気込みを語りました。町長は「高齢社会による孤立化を防ぐためにみんなで集まる機会を作っていく。経済と地域の暮らしが両立できればと思っている」と民生児童委員の活躍に期待を寄せていました。



町民が安心できるように

ディスパッチから寄贈

5月12日(水)に株式会社ディスパッチの塚本和会長と日本光触媒センター株式会社(本社・佐賀県)の稲垣健太さんが町長のもとを訪れ、光触媒施工とアルコールディスペンサー寄付の目録を手渡しました。

光触媒は世界で初めて新型コロナウイルスに効果があると確認されたもので、5月15日(土)には役場カウンターや壁などに施工されました。

塚本会長は「社会貢献の一環で寄贈した。町民の皆様が安心して役場を訪ねられるよう活用

していただきたい」と話していました。

町長は「ありがとうございます。役場にきた人も安心すると思います」と感謝していました。

ついに始まる

新型コロナウイルスワクチン集団接種

5月29日(土)から、新型コロナウイルスワクチンの集団接種が始まりました。

30日の総合文化センター「パルナス」では30分ごとに18人ずつ計216人が接種を行いました。

集団接種会場は、小泊地域のすくすくこども館、中里地域の体育センター、総合文化センター「パルナス」の3か所です。

接種対象者やスケジュールなどの詳細を知りたい人は、町ホームページトップの「ワクチン接種に関する情報はこちら」をご確認ください。

